

広域都市計画マスタープランの改定に関するアドバイザー会議について

●会議の概要

1. 背景

- (1) 現在の広域都市計画マスタープランが当初策定（平成29年）からおおむね10年を迎えることから、新たな目標年次を見据えた都市計画の方針を示す必要が生じている。
- (2) 当初策定時以降の社会情勢の変化に対し、都市計画に係る変化を捉え、適時・適切に対応する必要が生じている。
- (3) 都市計画に関連する各種計画が策定又は改定されていることから、これらに示された新たな視点を広域都市計画マスタープランに適切に反映していく必要がある。

2. 目的

新潟県が行う広域都市計画マスタープランの改定にあたっての基本的な方針について、都市計画などの専門的な視点から、幅広く助言を受けるものとする。

3. アドバイザーの構成

岡崎 篤行	氏（新潟大学教授	：都市計画（景観）	分野）
小瀬 知洋	氏（新潟薬科大学教授	：環 境	分野）
松川 寿也	氏（長岡技術科学大学准教授	：都市計画（土地利用）	分野）
福本 塁	氏（長岡造形大学准教授	：都市防災	分野）

●第1回会議の内容

1. 主な協議事項

- (1) 基本的事項の説明
 - ・広域都市計画マスタープランについて
 - ・広域都市計画マスタープラン改定の背景
 - ・広域都市計画マスタープラン改定の進め方
- (2) 広域都市計画マスタープラン見直し基本方針の考え方（意見照会対象）
 - ・「社会情勢の変化による現状」
 - ・「見直しの視点と課題」
 - ・「改定の方向性」

2. 開催回数（予定）

全3回を予定